

Report 第120回品質管理シンポジウム

顧客価値創造に対応する組織能力獲得に向けて『改善活動』を見直す
-「改善活動を通じた価値創造」に向け、産・学から
オンラインを含め、700名を超える参加者が集結-

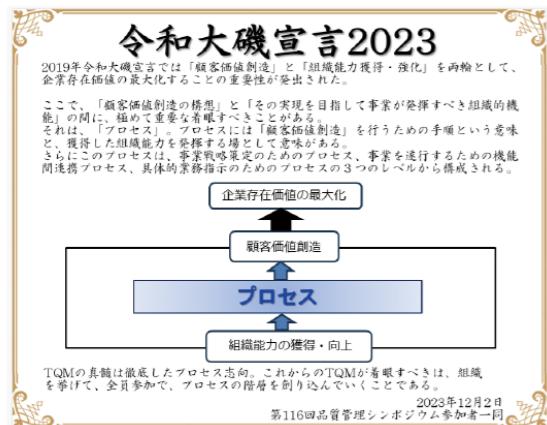


永田 靖氏
(早稲田大学教授、120QCS主担当)

半世紀を超える歴史を誇る、日科技連主催「品質管理シンポジウム」(以下 QCS)の第120回は大磯プリンスホテルにて 2025年12月4日～6日の日程で開催された。「顧客価値創造に対応する組織能力獲得に向けて『改善活動』を見直す」をテーマに開催された。参加者は、リアル会場では約220人が、オンラインでは500人以上が聴講した。ビッグデータやAI(人工知能), 働き方改革, 品質不正など企業を取り巻く環境が大きく変化する中、これからの改善活動について議論を深めた。その模様を報告する。

1. 120QCSの趣旨

主担当組織委員の永田靖氏は、基調講演で「改善活動はTQMの中核であり、その実効性が経営の質を左右する。近年、改善活動やQCサークルの停滞が指摘され、リーダーシップ不足や組織風土、人材・データ活用力などの構造的課題が顕在化している。加えて品質不正、働き方改革、AI・ビッグデータ、サステナビリティといった環境変化の中で、「変えてはいけないもの」「変えるべきもの」を問い合わせたい。また、改善活動のあり方をまた『令和大磯宣言2023』が示す三つのプロセスの視点を踏まえ、経営と改善の関係を再確認したい」と説明した。



満席のリアル会場（大磯プリンスホテル）

2. 120QCSのプログラム

QCSは、①講演 ②グループ討論・発表 ③総合討論の3本柱で構成されている。

今回の講演者は以下の通りであった。

講演	
[12/4 (木)]	
■特別講演	「日本のアップデートに挑戦するDeNA」 南場 智子氏 (株)ディー・エヌ・エー 代表取締役会長
[12/5 (金)]	
■基調講演	「組織能力獲得に向けて『改善活動』を見直す」 永田 靖氏 早稲田大学 創造理工学部 教授
■講演1	「ブリヂストン流DXを支えるソリューション品質管理の取り組み 『質を伴った成長』～Growth with Quality～」 井上 祥氏 (株)ブリヂストン Global CQMO・品質経営管掌
■講演2	「全員参加の品質経営の推進～あなたのお客様を感動させちゃおう～」 仲二見 裕美氏 旭化成(株) 上席執行役員 品質保証担当
■講演3	「ビジネスで活躍するデータサイエンティストを育てる ～滋賀大学での教育の紹介～」 河本 薫氏 滋賀大学 データサイエンス学部 教授
■講演4	「自動車における、データを起点とした価値創造」 山本 圭司氏 トヨタ自動車(株) デジタル情報通信本部 本部長

誌面の制約から講演内容の紹介は割愛するが、様々な分野の第一人者から、今回の趣旨に沿った様々な切り口から示唆に富む講演が行われた。この講演内容をグループ討論で大いに参考にしながら真摯な議論が展開されていった。



河本 薫氏 滋賀大学 データサイエンス学部 教授



仲二見 裕美氏 旭化成(株) 上席執行役員

3. グループ討論、総合討論

グループ討論は、「改善活動」について8つの切り口からテーマが設置され、最終日には、8グループからの討論結果の発表後、参加者全体による総合討論が永田靖氏の司会のもと行われた。



グループ討論 実施風景

4. 参加者間の交流の場

QCSの醍醐味は、参加者である会員企業の経営幹部同士が胸襟を開いて、情報交流、人脈形成ができる点にある。連夜開催された「談話室(別称: QCバー)」や「夕食会」では各所で相互交流が深められていた。

5. 永田主担当組織委員のまとめ

プログラムの最後では、主担当組織委員の永田氏から「120QCSのまとめ」が説明された。経営における改善の位置付けや品質不正、デジタル活用、人材育成などに焦点を当て討論を実施したが、「働き方改革が改善活動のドライビングフォースになる」という指摘、改善と革新について「変化があった時に躊躇せず勇気を持って取り組む風土を作るのが改善活動のメリット」などの注目される意見のほか、イノベーションを生むための条件、品質不正を防ぐためのTQMのあり方、教育・人材育成に関するポイントも論点となり、約220名の参加者にとって有意義なものとなった。



特別講演者: 南場 智子氏 (株式会社ディー・エヌ・エー)

* * *

次回QCSは、日科技連 佐々木眞一理事長が主担当を務め、2026年6月4日(木)～6日(土)にテーマ「日本の産業競争力向上を実現するこれからの品質経営」として開催される。

- ①儲かる手法としてのTQMとは何か
- ②「令和大磯宣言2023」の3つのプロセスの一般化
- ③第三次産業、中小企業の改善活動意欲支援のしくみなどを議論していく予定である。多くの会社役員、部門長ならびに学術関係者の参加を期待したい。

[報告: 安隨 正巳(品質経営創造センター)]

QCS公式サイト →

